

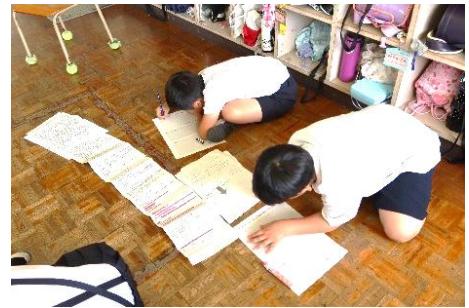


熱いぜ！②

読む力、表現する力を高めるために

4年生の国語の授業がおもしろい。子どもたちが、**言葉や文章にこだわった読み取り**をしています。教科書本文を打ち出したプリントに、どんどん線を引き、読み取った自分の考えを**書き込んで**います。その書き込みをもとに、自分の意見を三段階でタブレット入力します。この三段階というのは、**根拠を明確にした意見**の書き方の練習です。「ただなんなくそう思う」という曖昧な考え方からの脱却です。「自分はこう考える（意見）。それは、ここに～と書いてあることから（事実）、～というのがわかるから（解釈）」という明確な根拠を持った意見を構築してほしいという担任（庭月野）の願いが具体的な授業の形として実践されています。

言葉や文章にこだわって読み取り、自分の考えを持ち、それを書き込んでいく子どもたち

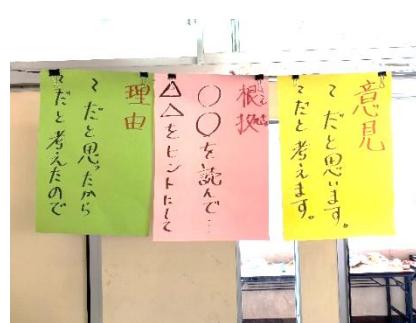


「言葉や文章にこだわる」とは・・・例えば「そっと布団をかける」の「そっと」から、気持ちを読み取ることができます。また、「わたしは」と「わたしも」の「は」と「も」の平仮名一文字からも分かることができます。それをただ読み流すのではなく、言葉に立ち止まって、記されていないことを読み取ることです。

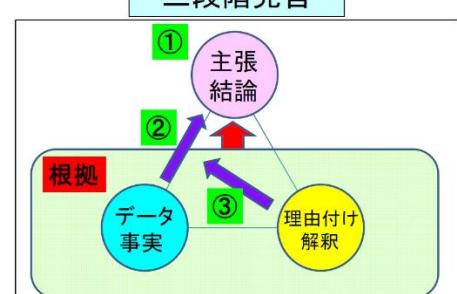
読む力、表現する力（根拠を明確にした自分の考えをしっかり説明できる力）を高めたい！



願い⇒具体的実践



三段階発言



自分の考えを**文章で表現**する（書く）力を高める場。タブレット入力の良さは、瞬時に他の友達の考えを見る所以で、自分の考えと比べたり、修正したりが容易にできるのです。



自分の考えを**音声言語で表現**する（発表）力を高める場。考えを深める場。

